

2020すみだイベントリレーの実施結果について

1 キックオフイベント

(1) 日時

平成30年10月29日(月) 午後6時～7時

(2) 場所

東京スカイツリー®4階入口フロア

(3) 内容

VR ボクシング体験

東京2020オリンピック競技大会において墨田区内で実施される予定の“ボクシング競技”をVR(バーチャルリアリティ)技術を活用した疑似競技体験を実施した。



ギリシャ KIMONO 展示

東京2020大会をめざし、世界各国の文化・観光・産業部会・歴史・自然をテーマに描いた196か国のオリジナルKIMONOを制作している(一社)イマジンワンワールドから、オリンピック発祥の地ギリシャをモチーフとしたKIMONOや帯、パネルを借りて展示した。



(4) 参加者数

約50名



集合写真

イベントトリレーで地域の機運盛り上げと

街の活性化をめざす

墨田区オリ・パラ協議会「未来枠」の若者たち

東京オリンピック・パラリンピックに向けて地域の盛り上げを図りたいと、大学生や墨田区内の若い事業者などで構成する「墨田区オリ・パラ協議会」の「未来枠」が、オリンピック開催634日前の10月29日のイベント開催を皮切りに様々な取り組みを開始した。パラリンピック開催634日前の11月30日には、ワークショップ形式のイベントをすみだリバーサイドホール(墨田区吾妻橋)で開く。



「未来枠」で29日のキックオフイベントなどを企画運営した千葉大学の学生(左から岡村さん、原さん、都築さん)

「未来枠」は、2017年9月に発足した「墨田区オリ・パラ協議会」の活動グループの一つで、「おもてなし・交流部会」「スポーツ・健康部会」など5つの部会に加えて設けられ、若い世代が中心になって活動する。メンバーには同区内への大学誘致が決まった千葉大学の学生も入り、特に人文公共学府博士前期課程1年の都築則彦さんは、学生団体「おりがみ」の代表として2年後のオリ

ンピック・パラリンピックに向けた大学生主体のイベント事業を既に手がけている。「未来枠」には、同大学2年の原実季さんと岡村文海さんの3人が参加し、「すみだにしかないもの」として東京スカイツリーを軸に墨田区内で定期的にオリ・パラ関連の催しを展開する「イベントトリレー」を提案した。

29日に行われたキックオフイベント「体感せよ!『634日後の世界』は、両国技館が会場となるボクシング競技をVRで体験できるコーナーを会場に設けたほか、世界各国を着物で表現する「KIMONOプロジェクト」の1作品となるギリシャをイメージした着物を展示した。ゴールをつけて体を動かすとリング上で相手と対戦する感覚を楽しめるVRは、東京スカイツリーを訪れた外国人なども楽しんでいった。

30日に行われる「Make A SUMI DA 東京スカイツリーで何をする?」634日かけてつなぐスカイツリーと墨田の街」は、オリ・パラをきっかけにどんな街にしたいか、街の活性化につながる意見を出し合う場を設ける。

こうした大学生らの企画力やアイデアを生かした手作りのイベントが今後も登場する予定だ。

都築さんは「身近な場所体験するオリ・パラについて競技以外の部分でも20年、30年後に子供や孫に語ることでできる『何か』を地域の人が手にするきっかけを作りたい」と話している。



ボクシングVR体験コーナーでは、家族で遊びに来たという9歳のアクセイ・サラン君(江戸川区小松川)も最新機器による仮想体験を楽しんだ

ンピック・パラリンピックに向けた大学生主体のイベント事業を既に手がけている。「未来枠」には、同大学2年の原実季さんと岡村文海さんの3人が参加し、「すみだにしかないもの」として東京スカイツリーを軸に墨田区内で定期的にオリ・パラ関連の催しを展開する「イベントトリレー」を提案した。

2 イベントリレーVol.1「Make a SUMIDA～東京スカイツリーで何をする？～」

(1) 日時

平成30年11月30日(金) 午後7時～9時15分

(2) 場所

すみだリバーサイドホール1階会議室

(3) ファシリテーター

すみだ青年協力会 顧問 須藤昌俊氏

(4) 参加者数

16名

(5) 内容

「東京 2020 大会に関わりたいけど、どうすればいいのかわからない。」、「気運醸成のアイデアはあるけど、実践する場がない。」等、東京 2020 大会や墨田区への熱い思いを持った方々と、複数回のワークショップ等を開催し、墨田区の未来像や東京 2020 大会へ向けた気運醸成等について考え合い、生まれたアイデアを自分達の手で実践していくことを目標とした取組の「2020すみだイベントリレー」。

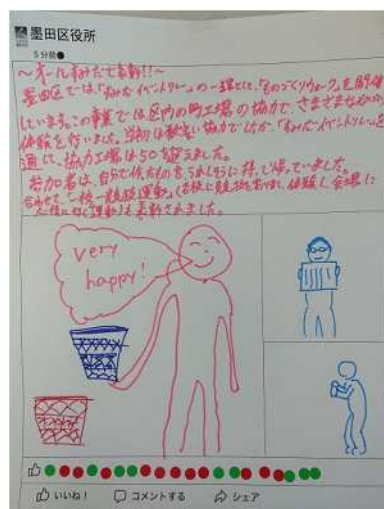
Vol.1は、「東京スカイツリー」をテーマに、参加者同士の自由闊達な意見交換を目的としたワールドカフェ方式のワークショップを開催した。

最終的には設定に沿ったFacebook形式のワークシートを作成し、それぞれのアイデアを発表。互いにいいねやコメントをし、アイデアを共有した。

【設定】634日後のパラリンピック開会式でIOCから墨田区長が「すみだイベントリレー」の功績で表彰されました。それはなぜ？

- A班

「すみだイベントリレー」の一環として、様々な町工場でものづくり体験ができる「ものづくりウィーク」を開催し、協力工場は50を超えた。また、「一校一競技運動(各校に競技を割り当て、体験し、会場に応援に行く運動)」も表彰された。



- B班

伝統×交流×観光を生かし、地元の人と観光客と一緒にオリンピックを最も楽しんだ区として表彰された。



- C班

隅田川花火大会と全国各地の花火大会が日替わりでオリンピック期間中の27日間連続で同時開催された。



- D班

墨田区では、2020年に向けすべての一般家庭で民泊を解禁。また、空き家を活用し、ものづくり体験等ができる施設をオープンした。さらに、区内すべての看板や案内表示をAR技術を用いて全言語対応とした。

これらの対応が「最先端すぎるおもてなし」として、表彰された。



